

ハウユー・
ダンプ・
エアセルフ

柳澤 諒太
鷹野 泰幸
富永 蘭
平川 豊
宮 早紀子

4人、飲み会で乾杯をかまえている

諒太 えーと えーと…じゃあ？

沈黙

泰幸 いや、お前だろ

諒太 えっ 自分で？

蘭 そりゃそうでしょ

諒太 ええ… ふつうになんか 恥ずかしいだろ

豊 胸を張れw

諒太 胸を張るのもおかしいけど え…じゃあ、なに？

え… この度、結婚します！ よろしく願いします！

かんぱい！

3人 かんぱ…い

飲む

泰幸 いや、よろしくお願いしますもなんだよw

諒太 言い方わからんて

蘭 よろしくないといけないのはさ、こっちじゃん

人生の先輩になっちゃったわけだから。

まあ 諒太かな？とは思ってたじゃん

それはな

豊 ギリ追いあげるつもりだったんだけどね

泰幸 言ってるだけだろw

諒太 俺は正直、自分が最初とは思ってなかったよ？

豊 うそつけ

諒太 みんな、本気出せばってかんじでしょ？

蘭 煽ってるの？

諒太 いやいやマジで！ 結局、タイミングよ。

泰幸 まあ、それはあるかもな

豊 にしても、日頃の行いはあるだろ 俺も気を付けてるつもりだけど。

諒太 え… なんかありがとう

泰幸 付き合ってたのくらいなんだっけ？

諒太 こないだで、1年

泰幸 あ… ちよつと早くはあるか？

豊 相性がよかったならそんなもんじゃないか

蘭 半年で同棲して、もう半年で結婚でしょ？

諒太 うん

蘭 いいペースなんじゃない？ あたしもわかんけど。

諒太 まあ、同棲してみても大丈夫そうって思ったのはデカイね

蘭　ね　てか、家めっちゃいいかんじだもん
楽しい生活？　を感じる

泰幸　なんだよそれw

諒太　部屋のもんは、サキコがほとんど決めてくれてて
俺はなんもしてないんだけどね

蘭　センスいいね、サキコちゃん

諒太　ありがたいわ

豊　なんか、植物とかは置かない感じ？

諒太　植物？

豊　そういうのあったら、もつと良くなりそうだから。

諒太　世話するの自信ないからな

豊　俺得意だから、やりたくなったら言ってよ

泰幸　え、ていうかサキコ、どんくらいに帰ってくんの？

諒太　ああ　ん、そんなにいかんないと思うけどね

蘭　なんか申し訳ないね、買い物…

諒太　いやいや！

蘭　4人で水入らずの時間があるほうがいいでしょって、言ってくれたから
うちら、そんなすごいアレだっけ（笑）

泰幸　まあ、結婚したら気軽じゃなくなるからだろ

諒太　俺はぜんぜん、みんなと会うつもりだけど

豊　どうだかなあ

泰幸　友達とほつき歩いて嫁に怒られるとか、あるあるだろw

諒太　え、そうかな

蘭　今日、嫌われないようにしないとねw

豊　全員、初対面だもんな

泰幸　俺は一瞬、電話で話したけどね

蘭　あれでしょ？　泰幸の誕生日にさ、諒太が盛り上がって終電逃しちゃって。

泰幸　あたしも横で聞いてたよ

豊　逆に、豊はいなかったんだっけ？

蘭　あ、俺、セミナーで先に帰ったんじゃないか

泰幸　それかも　てか、泰幸が話したのほんとに一瞬でしょ

蘭　まあな

諒太　早紀子はどう、ふつうの子だし　大丈夫だと思うよ

泰幸　どうだろ　俺、逆に癖強って言われがちなんだけどw

豊　まあ、変な身内ノリは気を付けないとな。

諒太　いやいや　もう、10年来の親友たちって言ってますから。

蘭　え、なんか恥ずかしw

泰幸　お前、そういうの普通にいうよな

諒太　別に、ほんとのことじゃん。

豊　高校からさ、こんな、社会人になってもつるんでくれるわけですから。

蘭　まあ、周波数が一致してる感じはあるな。

豊　気遣わないでいられる的なね。

諒太 サキコも 3人に会うの楽しみ〜って言ってた。
 豊 いい子だな
 蘭 え、でも実際、どういうノリでいけばいい？
 諒太 別に、ふだんと一緒でいいよ
 豊 蘭は、ネコかぶるとすごいからな（笑）
 蘭 失礼なんだけど
 泰幸 諒太も、この〜 いつもの感じで、サキコと話してんの？
 諒太 うん
 泰幸 そういふもんか
 蘭 なに話すの、ふだん
 諒太 別に、ふつうだけだな 今日あったこと〜…とか？
 豊 共通の趣味とかは？
 諒太 ないね もうほんと、なんとなく〜く気が合っただけって感じだったから…
 豊 ああ、じゃあ 夫婦になっってからなんか始めるとかは
 諒太 まあ、そういうのはいいかもね
 蘭 え、質問質問
 諒太 はい え、ってかみんなめっちゃ聞くな（笑）
 蘭 そういふ日でしょ？
 諒太 え、諒太はさ、結婚してもこう〜、友達みたいな、夫婦に憧れるタイプ？
 蘭 友達、みたいな夫婦？
 諒太 そうそう それこそ一緒に趣味つくろ〜みたいなさ
 蘭 いちゃラブするより、一緒に遊ぶ？ みたいな感じの。
 諒太 あ〜… いや、友達と夫婦はちがうんじゃないっていう派かな？
 蘭 それはそうなんだ
 泰幸 ずつと言ってるよな 友達と友達、恋人は恋人、みたいな
 諒太 うん そうじゃない？
 豊 まあ、俺もだな 友達とは一緒に暮らさないし。
 蘭 そこで変わるの？
 豊 だって、一緒に暮らすってこと考えたら 相手にもクオリティは求めるだろう
 蘭 あ〜、クオリティね？ うん…
 泰幸 そういふ蘭は？
 蘭 あたし？ あたしは、とにかく楽しく過ごしたいな〜！
 泰幸 え、「とにかく楽しい」？ 夫婦で？
 蘭 うん え、なに？
 泰幸 結婚の時点でそれはないだろうw

一瞬の沈黙

蘭 ちょっと、新婚さんの前で なんてこと言うんだw
 泰幸 いやいやいやいや 結婚の時点で、楽しくないだろ？
 人生の墓場ってよく言うじゃん
 諒太 ああ あの、今まで通りにはいかなみたいな意味でね

泰幸 それ。他人に人生縛られたら そら墓場だわなw
 蘭 縛られるっていうか、寄り添うって感じじゃないの？
 泰幸 あゝ、それちよつとさ、企業戦略ハマってんね ゼクシィとかのw
 蘭 なにそれ
 泰幸 諒太だつてさ、ぶっちゃけ覚悟のうえでしょ？
 諒太 え？ まあ… まあ、大変なこともあるかもなく、とは？
 泰幸 ほらな？
 豊 いや、諒太困らせんなよ お前の偏見だろ
 泰幸 まあ実際、世間はどうでもいいんよ？ 俺にとつてはつて感じ
 蘭 昔はけっこう、家庭憧れゝみたいな感じじゃなかった？
 泰幸 いや、いつの話だよw
 豊 なんかつたのか？
 諒太 別にそういうわけじゃないけど まあゝ
 蘭 自分と向き合うとさ、自由なほうが性に合ってるってわかつちゃった、的な？
 泰幸 家庭についていうか、何事にも「縛られる」のが無理だわw
 蘭 あゝ、そういうこというやつは結婚しないほうがいいですよ、
 泰幸 おう わかつてますw
 諒太 泰幸のそういう、自由なところは、長所だもんな
 豊 諒太はやさしいな
 蘭 え、じゃあさ、泰幸は彼女とかいらなの？
 泰幸 おゝまあ、ノリによつては？
 蘭 ノリ…
 泰幸 まあ、ワンチャンあるかなつて子は何人かいるから
 豊 いいタイミングがあつたらだよな？
 泰幸 タイミングねえ
 蘭 そういう良縁をつかむためには日頃からいろいろとすべきだと思うが？
 泰幸 あゝ、そういう、いろいろをするっていうのはさ 縛られてるじゃん？
 蘭 そういうことじゃないんですわ。
 泰幸 泰幸がそれでいいならいいんじゃない。
 豊 まだ20代だし、自由に遊んでナンボっしょ？
 泰幸 遊ぶにしても、健康は取返しがつかないからな
 豊 性病とか気をつけろよ
 泰幸 性病w 別に、そーゆー遊びだけじゃないんだよね。
 蘭 俺からしたら、仕事とかもけっこう遊びっていうか…
 諒太 「遊び」って言葉の意味が広いんだよね
 蘭 ……
 諒太 ……あ、あの、仕事！ 聞こうと思ってたんだよ！
 泰幸 仕事さ、あれ、転職したよな 順調？
 豊 ああ、まあ、そこそこ？
 泰幸 何系いったんだっけ
 豊 コンサル
 泰幸 大変そうだけどな

泰幸 普通に言ったら、大変なんかな？

ロジカルシンキングとアイデア力がハイレベルで求められる…って感じだけど
ちよっと、説明しても伝わらねえかもw

諒太 そうなんだ

泰幸 俺は、毎日おんなじようなことする一般サラリーマンの仕事より全然いいから？
大変なのはどうかっていうのはわかんねえわw

諒太 すこいね

泰幸 まじ「遊び」の感覚でチャレンジして、キャリア積んでる。

蘭 今の職場、いつからだっけ？

泰幸 先週

一瞬の沈黙

諒太 ああ… ああゝ、そつ…か おお。

泰幸 もう、え？ここ精神と時の部屋？ってなるんだよね、まじで。

豊 いや、楽しそうでよかったけど

泰幸 楽しまないとな、何事も？

で、話戻るけど？

蘭 そういうスタンスだから俺は結婚とか、楽しそうとは思えないんだよね
いいんじゃない？ したい人がすればいいよ、結婚は ね

泰幸 そうだよなw

俺としても、したいならすればいいんじゃない、って感じよ？

NOT FOR ME、ってだけ。

沈黙 泰幸、気持ちよさそうに酒を飲んで、一息

泰幸 ちよっとトイレ借りていい？

諒太 ああ、いいよ

泰幸 どこ？

諒太 えっとね、その廊下出たところ

泰幸 おう じゃあ、ちよっと借りるわ

泰幸、OUT

少しの沈黙

蘭 ……おう。

諒太 ん？

蘭 うん…… え？ ねえ…

豊 いや、うん

蘭 え？

豊 うん（笑）

蘭 え そうだよね？

豊 蘭 うん、つて。
え、ちよつ……と……

豊 ……あいつ うるさいよね……？
…うん

豊 えつ、えつ、うるさくない！？
だから、うん うるさいだろ（笑）

豊 だよねえ！？ うるさいよねえ！？
蘭、蘭、ここ、壁薄いから…

豊 いやだつて え？ でも、諒太もうるせえなつて思ったよね？
まああの…… ちよつと？

豊 しゃらくさかったなw
それ！ しゃらくさい！

豊 ちよつとあれだよね ゾーンに 入っちゃつてたよね？
ゾーンつてか別世界にいつちゃつてたでしょ

豊 ……「遊びつて言葉の意味が、広いんだよね」
これやばない？

豊 いやw なんゝかなあ… 諒太の結婚祝いなにな
それね！ なんかごめんね

豊 俺はぜんぜんいいよ
ほんと、泰幸らしいなあとも思うしさ

豊 甘いつて よくも悪くもあいつらしさだけど
…なんか、年々ひどくなつてるよな？

豊 少なくとも、出会つた頃はあんなんじゃなかった。
まあ、もう10年前だし

豊 そうだけど 高校んときは、むしろ控え目じゃなかった？
あゝ、まあたしかに

豊 ていうか今の感じだつたら、天文部になんか入らないんだろ
サッカー部でベンチあつたためそう

豊 わかるなあ
いつからくだろうね、泰幸があんな感じになつたの

豊 え まあ、高校のときはああじゃなかったつてことは ……大学？
あいつだけ理系行つたからさあ 理系のせい？

豊 さすがにそれは
あ わかつた。

豊 え、なに？
童貞捨てたからだ。

豊 ……え？

豊 だから、童貞捨てたからだ。
どういふ文脈？

豊 いや、人間、こうゝ 「初体験」で人生観変わるでしょ
ああ… ええ？

蘭

いやだつてさ、0が1になるっていうか…

諒太

今までの人生になかった、重要な要素が解放される感じじゃん。

諒太

でも、泰幸のあの感じが、それで？

蘭

え、てかたぶん、あんたたち二人のせいもあるよ？

諒太

俺たち？

蘭

そ…よ

豊

あいつの童貞と俺たちがどう関係するんだよ

蘭

…なんか嫌だな

豊

いやだからね、ふたりともさ、けっこう良きタイミングで童貞卒業したよね？

蘭

で、泰幸のこと置いてったじゃん

豊

置いて？ いやそなん、それこそタイミングだろ

蘭

でもさ、泰幸、学部マジで男しくないって言ってたじゃん。

豊

彼女できないのとか、童貞とか、気にしてたと思うんだよね？

蘭

あゝ、理系は文系とちがって遊ぶ暇ない！ ってやたら主張してたよな

諒太

それよ、で、あいつが童貞捨てたのさ、社会人になってからじゃん。

蘭

同期にクラブに連れていかれて…ってやつだよ

諒太

そうそう、そんで、美女とワンナイト(笑)

蘭

けっこう当時、テンションあがってた…よね？

諒太

その言い方悪w

豊

え、ごめん

蘭

実際、ハイになつてたよ

豊

めちゃくちゃ飲んだのにちゃんと勃つたって自慢してたけどさ、

蘭

よくよく聞いたらカクテル3杯しか飲んでなかったし

豊

相手が気持ちよくて動きまくってたってやつも、

蘭

童貞趣味の女にリードしてもらってたっただけだよ

豊

そもそも「美女」ってこともあいつが言ってたことだしなw

蘭

まあまあだから、そういうのもさ、コンプレックスの裏返しなんだって

諒太

えっと…なるほど？

蘭

あんたらに遅れをとってたところからさ、泰幸的にイケてる感じで卒業したわけ

豊

それで、なんかこう…

蘭

調子乗っちゃった。

豊

それ。気が大きくなっちゃってんのよ

諒太

ええゝ、なんかそれ… そつかあ(笑)

蘭

ていうか、それなら、俺たちのせいだけじゃないだろ

豊

いや、こういうのは同性のほうが気になるんだって

蘭

異性の場合はちよっと、次元が違う感じするじゃん

豊

ああ… ああ、まあ、次元か…

蘭

あ、あと、今日は諒太の前だからね？

諒太

俺？

豊

諒太がまた、自分より進んでいったからか。

蘭

そうそう

諒太 えゝ まじで、結婚するだけだよ？

豊 諒太のその感じが、またもつと あれなんじゃないのかね

蘭 泰幸にはその余裕、ないから。

豊 魂のレベルがちがうんだよな

蘭 結婚できるやつとできないやつがちがいつて感じだな。

豊 あいつの言い分としては「できない」んじゃない？「しない」んでしょ
蘭 しようと思っても厳しいだろ

豊 女の子に好かれてるとこ、想像できないよねゝ

蘭 まちがない

豊 ……え、なんか

諒太 ん？

蘭 いや…なんか、ふたり あれ

諒太 なに？

蘭 なんか… 泰幸のこと、きらいになっちゃった？

豊 え？

蘭 きらい？

諒太 うん いや、なんか え、ごめん、なんかすごい言うからさ

蘭 あれ？ みたいな

諒太 きらい…

蘭 ……

豊 きらい、っていうのでは、ないよね

蘭 今更ではあるしな

豊 そうそう うるさいなゝとは思っけど …まあ、それだけ？

蘭 うむ

諒太 …そっか いや… なんか、それならよかったわ。

蘭 今日のはひどかったからね、こつちも口が悪くなりました

豊 そうか まあ、そうだよな

諒太 というか、あいつ遅くないか？

豊 あ、そういえばね おなか壊してんのかな？

蘭 生活習慣だろ 日頃、身体に入れるものを気にしてないから…

泰幸、
戻ってくる

蘭 あ、噂をすれば

泰幸 え、なに？

諒太 遅いけど大丈夫かなって 話してたんだよ

泰幸 ああ、ついでにちよつと チャットとメールチェックしてただけ

蘭 え、いま？

泰幸 あ、みなきやいけないってんじゃないよ？

蘭 遊びってモンは、休日にごそやるもんじゃん

蘭 あゝ…そうw

泰幸 なんの話してたん？

蘭 別に、たいした話はしてませ〜ん
泰幸 どういうノリよ

諒太 あ、おい 諒太の惚気とか聞いてないよな？
言ってない言ってない！

泰幸 あぶね〜 それは聞き逃せないと思ってたわ
じゃあどうする諒太、いまから話す？

諒太 いやいや、そういうノリいいでしょ、ね。
ほらなんか みんな ないの？ 最近

泰幸 話逸らすの下手か
諒太 ちがうって ほらさ、せっかく、ちよつと久しぶりじゃん

豊 俺の話ばかりすんのもねえ
久しぶりってほどでもないし、今日の主役は諒太だろ

諒太 あ、じゃあさ、惚気はサキコちゃんがきてからにしよう（笑）
え

泰幸 いいなそれ、それでいこ
諒太 え、やだよw

蘭 だめで〜すもう決まりました
じゃあほら、恋バナ限定で近況報告、どうぞ

諒太 諒太もそのほうが話しやすいもんね？
いや、え〜 ほんとにあとで聞く気じゃん

豊 それを聞きに来てるからな
……まあじゃあ？ 確かに、どうせなら誰か道連れにするかあ

諒太 いいねえ！ ほらほら。
いやいや、俺はさつき話したスタンスだからね？

泰幸 よくあるピュアな恋愛求められても、って感じだわw
俺も、自分のレベルをあげる段階だからな

豊 え〜 じゃあなに、あたししかないってこと？

諒太 …蘭は、どうなの？ 最近
や、そのふたりよりマシだけど、特別なことはないよ？

泰幸 特別なことはしてない、ねえ
うん まあ、最近だと、バレンタイデーはけっこうがんばったから？

豊 ホワイトデーは期待してる
がんばったって、どういう？

蘭 手作り！
え、今まで手作りとかしてた？

豊 手作りってめっちゃ喜んでもらえるって気づいちゃいました？
今年はがんばってみました

泰幸 そんなけなげなタイプだっけ（笑）
うるっさいな

諒太 なに作ったの？ 手作り…
クッキーと、マカロンと、フォンダンショコラと、トリュフと

あの一応、ふたつくらい買ったかな
えす……ごいね？
まあまあ？ クリスマスもけっこう頑張ってくれたしね
クリスマス… こっちからすると、大変そうに見えたけどな
大変ってことはないよ？
ストーリーの量ヤバかったけどなw
ってか、まじめな話ね
そろそろ… プロポーズとかも、きちゃうかもって思ってた。
え、プロポーズ？
うん
それ、どうすんの？ やばくね？
まあ、今までもそういう空気になること、なくはなかったし…
考えておこうかなって？
へえ…
いつなん？ そういう空気になるとしたら。
今年、ホワイトデー金曜だから まあ、週末の夜のどこかには？
ランチのはナシなのかw
まあ、可能性は低いでしょう、こっちもそのつもりでシフト組んじゃってるし
は、また忙しそうだな
幸せな悩みでごめんなさい★
まあ、蘭が順調そうで よかったよ
そんときは、既婚者同士でよろしくね
ま、諒太と蘭は別物だな
いっちゃん色気ない豊くんには言われたくないわあ
俺は来るべきときに備えてるんだよ
そういうのはちゃんと、巡り合わせでやってくるからな
あ、はいはい
まあ、こういうのは人によっていろいろあるよね
蘭は参考にならんわw 参考にする気もないけどなw
こっちからしてもそうだわ あ、てかさあ、諒太
ん？
たばこって吸えたりする…？ 諒太もサキコちゃんも吸わない？
あ、吸わんけど、ベランダいいよ 隣の人もすうから
あ、ほんと、じゃあごめん いい？
もちろん

蘭、ポケットから3つくらい銘柄のちがう煙草を出して
そのうちのひとつを選ぶ

蘭 ちよっと一服、いってきまゝす

蘭、OUT
少しの沈黙

豊 ……いまは、4、か？

泰幸 いや、6だろ

豊 え、なんで？

泰幸 ほら クッキーと、マカロンと、フォンダンショコラと… あとなんか

豊 4じゃん

泰幸 ちがうちがう あとふたつ、買ったのもあるって言ってたじゃん

豊 あゝ そうか

泰幸 アツめなのが手作りの4ってことだろ

諒太 そこから、さらに3…かな？

豊 あゝ、ホワイトデーの週末の夜

泰幸 金曜の夜、土曜の昼夜、日曜の昼夜 これだと5じゃん

豊 粋、ひとつ足んなくね？

豊 最近、夕方シフトもあるらしいぞ

泰幸 そいつ、かわいそうだろw

豊 タバコも3だし、夜シフト以外はけっこう雑かもな

諒太 吸わない人もいるんじゃない？

泰幸 いやゝ、あいつ、喫煙者性癖だから

豊 わざわざ体内を汚染することの良さ、俺にはまったくわからんけどな

泰幸 まっ、本命はセブンスターだな いま、持ってたやつ。

豊 たしかに

諒太 いやゝでも しみじみ… すこいよね

豊 6股。

豊 というか諒太、恋バナの空気にノるなよ。

諒太 え ああ、ごめん

豊 蘭の恋バナ、こういうスタンスで聞けばいいかわかんないんだよ

泰幸 「男は狩れるだけ狩る」のくせに「ぜんぶ純愛」スタンスなの、

豊 サイコパスだろw

豊 「幸せな悩みでごめんなさい」は怖かったな。

諒太 まあ… あの、蘭が幸せならいいとは思っけど。

泰幸 やたら結婚論語ってきたのもさ、お前が言うかって感じでさ

諒太 まあ、その、理想が高くなるのは 仕方ない…んじゃない？

豊 諒太は、甘いな！

諒太 いや、そういう、こう ちよつと独特な方向にストイックっていうか、

泰幸 それも蘭らしいなっていうか…

豊 いやいや シンプルにキモイだろ！

泰幸 え、分かる？ あいつ、俺らに対しても、たまにこういう（実演）

豊 こういうボディタッチしてくるよな！？

泰幸 あるなゝ

豊 ドキッとしねゝゝよお前に！ ってなw

豊 そら女友達いないだろうな
 諒太 え、そうなの？ ふつうに女子グループでるんでなかったっけ
 豊 昔はな
 諒太 いまは？
 泰幸 気づいてねえの？ あいつのインスタ、男しか出てこねえじゃん
 諒太 ああ… ああ、言われてみれば
 泰幸 高校んときの女友達とか、もうほぼ切れてんじゃね？
 諒太 なんでそこまでして男追っかけるかねw
 うゝん…
 豊 あ
 泰幸 ん？
 豊 いや、俺、ちょっと聞いたことがあるんだけど。
 諒太 うん
 豊 なんか、人間、「初体験」で人生観変わるって
 諒太 えっ
 泰幸 初体験ってなに？
 豊 要ははじめてやったときってこと
 泰幸 ああ… え？ なんだよそれ
 豊 いや、俺も最初はそう思ったけどさ
 泰幸 具体例きくと、なるほどねって感じはしたんだよな。
 へえ…？
 豊 で、さ 蘭もそうなのかなって 思わんか？
 泰幸 ……あゝゝゝゝ
 豊 な？
 泰幸 いや、あゝゝゝ、だわ。
 諒太 蘭のそれって あの… 大学2年の？
 泰幸 伝説だろあのゝ
 諒太 蘭が、当時の彼氏のライブ観にいつて
 豊 バンドメンバー全員食って帰ってきたやつね
 泰幸 複数プレイとかじゃなくて一人ずつ×5な ひと晩でどう管理するんだよ
 諒太 点数とか、つけてたんだっけ
 豊 ダメだしも書いてたな
 泰幸 お前、何様だよってな！
 豊 まあなんだ あんとき、男たちのほうから可愛い可愛いって寄ってきた、
 泰幸 って言ってたからな
 豊 文系バンドマンって感じだわw
 諒太 で、ほら そういう経緯で5連発初体験して、点数なんかつけちゃったから
 いまの蘭がある… って感じしないか？
 泰幸 たしかに… たしかになあ。
 諒太 原因がわかっててもキモいけどな
 豊 w 直球だな

泰幸 いや、そうだろ。

豊 まあ、あれじゃ、本当に周波数が一致する相手には巡り合えないような結局クオリティ下げてるよ

泰幸 まあそんなかんじだよ、うん ふつうにヤバすぎ

諒太 ……

諒太 諒太？

豊 あ、ごめん いや

諒太 ……あの、ふたりは 蘭のことがきらいってわけじゃ、ないよな？

泰幸 さらい？

諒太 けっこう、言うなあって

豊 さらいってわけじゃないよ、蘭も

諒太 泰幸も？

泰幸 え まあ、そうだな きもいけど、いつものことだし。

諒太 俺の周り、濃い奴多いし？

豊 そっか まあ、ならよかったけど

諒太 ……まあ、そうだよな 俺たち、10年来の親友だもんな。

豊 すこい言うじゃん、それ（笑）

泰幸 サキコにもそれで紹介されちゃってるもんなw

諒太 いや、だってほんとに思ってたんだよ？

豊 ただ部活が一緒だったってだけの関係でさ、

諒太 ここまで続いているのって ほんとに気が合う仲間だからってことじゃん。

泰幸 そう思うと、俺、ほんとうれしくってさ

豊 ……諒太。

豊 まあ、周波数の一致度は高いよな

蘭、戻ってくる

豊、なんかちよつと不機嫌っぽくなる

蘭 は、ただいま

泰幸 おくくおかえり

蘭 外、ちよつと春っぽくなってきたよね エモい感じw

泰幸 ひとんちのブランドでタバコ吸っただけだろw

蘭 別にそこからエモを感じたっていいでしょうが

泰幸 はほんと、ロマンないわあ

泰幸 はいはいw

蘭 今、なんの話してたの？

諒太 え あく、えつと 俺はみんなに感謝してるよ、って。

蘭 なに、こつちのがエモい話してんじゃん！

豊 諒太のいつものやつだよ

蘭 まあ、男の子ってすぐ恋愛になっちゃうから？

諒太 みんながずっと友達でいてくれるのありがたいなとは思ってますよ
そうだよね！

蘭 え、うんw すごい喜ぶじゃん
諒太 いや、ごめん

蘭 でもほんと、俺も感謝してるからさ
うん、ありがとw ……で、え、豊はなに？

豊、露骨に不機嫌

豊 ……諒太、やっぱ植物置いたほうがいいぞ
諒太 え、植物？

豊 それか、水
諒太 水？

豊 諒太は、気になんないのか？ 蘭のたばこの…

蘭 え、におい？ 豊、いままでそんな気にしてなかったじゃん

泰幸 おいバカ

蘭 え

豊 いや、俺、魂のレベルあげ続けてるからさ

豊 いままでは気にならなかった穢れも、感じるようになったんだよ。

蘭 ……あゝ。

豊 植物を置いておけば、空気中の「穢れ」を清浄にしてくれるし
水は、ブライトウォーターっていうのがすぐくてさ

泰幸 一日一杯飲むだけで、身体も魂もばつと浄化されるんだよな

あゝ

蘭 おおゝ

豊 諒太はさ

諒太 え、あ、うん

豊 これからサキコさんとふたりで「生活のクオリティ」高めてさ、

諒太 お互いの「魂のレベル上げ」していくわけだろ？

豊 おううん

豊 なら、「穢れの蓄積」は避けないと

諒太 将来的にはもっと、「魂の持つ縁の力」大切になってくるぞ。

豊 おお うん おおゝ

豊 蘭も泰幸もな

蘭・泰幸 んおう

豊 おまえらは、諒太より適当だから心配だわ

蘭 セミナーとか無料で手配してやるから、興味持ったらすぐ言えよな

豊 蘭・泰幸 んんうん

豊 さっきの諒太の話じゃないけどさ

豊 俺たち、これだけ「魂の周波数が一致」してるうえに、

豊 「魂のレベル上げ」前に出会えてるだろ？

豊 それって、相当「魂の縁」が強く「リンクしてる」ってことだから、まあ

豊 ……こういうお節介も言わせてくれよw

諒太 あ うん うん…!

豊 諒太につられて、こっぴどかしいこと言ってすまん

諒太 んあゝ、うん

豊 あゝ、でもだめだわ

やつぱ、蘭のタバコでこの部屋の「ブライトオーツ」が減りすぎて

ちよっと俺、一回外出て「穢れ落とし」してくるわ

あああ、うん うん

豊 悪いけど、この部屋も換気しといてくれ 頼んだ

豊OUT

沈黙

蘭 こゝゝゝゝゝわ!

泰幸 こえゝゝゝゝ!

蘭 「穢れ落とし」ってなにゝゝ?

泰幸 知るかよゝゝ

蘭 ブライト… ブライトなにゝゝ?

泰幸 知らねえゝゝ

諒太 えつと、と とりあえず換気する?

泰幸 すんな! あいつの言うこと聞くな!

諒太 え、でも、豊が気になるって…

蘭 甘すぎ! いやもう、甘いとかじゃないって

諒太 あんなのまともに取り合っちゃだめだつて

泰幸 いや、でもなんか、信念が強いのは豊のいいところで…

諒太 は、なに、お前もそっち側にいくつもり?

蘭 いや、そんなじゃないけど

泰幸 はあゝ え、前に会ったときもあんなだった?

蘭 いや いや、なんかセミナーとか、それっぽいことはずっと言ってるけど

泰幸 あれだあ 魂のレベルが上がっちゃったんだ。

蘭 こえゝゝゝよ!

諒太 豊… なんてあんな感じに…

蘭 だから魂のレベルが

諒太 そうじゃなくて、なんでその、そもそも 「魂のレベル」とかそういうことに

泰幸 童貞捨てたときだろ

蘭 え

蘭 あいつ、初セックスでへんな性病うつされて

泰幸 それ以来、健康オタクみたいになって、気づいたら

蘭 ああなつてた

泰幸 そうだろ?

諒太 そ、そっか そうだったかも…

蘭 身内があそこまで あそこまで、ああなのはじめてだわ…

泰幸 「口ジカル」じゃないよなw

蘭 うわ、あんたのその返しもなんかヤダ
泰幸 なんでだよ
蘭 やだもー なんてあたしの友達つてきもいのばっかなんだろ
泰幸 おい、お前が言えたことじゃないからな
蘭 は？ あたしは一番ふつうじゃん。
泰幸 いやいやいやいや そんなことないだろ、豊も言ってたぞ
蘭 ちよつと、なんであんたらにそんなこと言われんの？
豊 ってか、こつちだつてあんたがいない間にさあ

豊、戻ってくる

豊 ただいまー

諒太 あっ

豊 今日、こんなこともあろうかと思つて、

水筒でブライトウォーター持ってきてたんだったわ。

…あれ？ 部屋、換気してないじゃん おまえらもいるか？

蘭・泰幸 いらないー！

豊 おい、そういう意識の低さがさあ…

着信音

豊 ん？

蘭 誰の？

諒太 あ…早紀子だ、ごめん、ちよつと出てもいい？

泰幸 いいに決まってるんだろ

諒太 ありがとう じゃあ

諒太、電話に出る

諒太 もしもし うん、来てるよ ああ 買い物、大丈夫だった？

よかった うん、じゃあ

蘭 なんだつて？

諒太 いま、駅着いたつてさ

泰幸 お！ じゃあ、もう来るじゃん。

豊 駅、近いもんなここ。

諒太 うん ちゃんと、いろいろ買ってきてくれたらしい。

蘭 え、それならさ 諒太、迎えに行けば？

諒太 ……え？

蘭 買い物帰りでしょ、サキコちゃん

泰幸 ああ、荷物多いかもな

豊 てか、俺たちに会う前に、諒太とふたりでいられたほうが楽なんじゃないか

蘭 あゝ、たしかに あたしら、ちゃんと留守番してるから…
諒太 やつ、えっ、ちよっ、待って

蘭 ん？

諒太 え、俺が、ひとりで、行ってくること？

泰幸 そりゃそうだよ。

蘭 サキコちゃんも、あたしらがそろそろ行ったら引いちゃうよ

諒太 え、ヤダー…！

豊 ヤダ？

諒太 え、だって、三人残して、俺だけ行ってくことでしょ？

泰幸 おう

諒太 ……ヤダー…！ え、やだ…！

蘭 やだってなによw 別に、部屋あさったりしないよ

諒太 そういうことじゃなくて！ いや… その…

…こわい！

豊 なんだ、どうした

諒太 こわい！ いま、ここからいなくなるの！

泰幸 うち本当に駅近いし！ 迎えとかいらなくて！

諒太 いやいや 旦那の友達もてなすとか、嫁的に嫌なイベントだろ？

豊 こういうとこでちゃんとしとけよ

蘭 サキコちゃんに嫌われたくないからねえ

諒太 う ええ、なに、みんな、迎えにいつてほしいってこと？

豊 いつてほしいってわけじゃないが そのほうがいいんじゃないのか、と

蘭 うん、そういう感じ

諒太 …ええ ええ

泰幸 逆にお前、なにがそんなに嫌なんだよw

諒太 いや… え、じゃあ、行くけど 行くけど

蘭 なに？

諒太 ……

泰幸 え、なんだよ？

諒太 俺…俺…のことも、あの きらいには きらいには、ならないで

ね…！

豊 は？

諒太 行くけど！ じゃあ、行くけど！

俺、メンタル弱いから！ 俺がいなくなってから話始めてね！？

諒太、部屋から出ていく

諒太 まだいるから！ まだ話始めないでね！

諒太 はい！ 今、玄関出るから！ そのあとで頼むね！

じゃあ、出ますよ！ すぐ帰ってくるから！ じゃあね！

諒太、OUT

蘭 …え、なに、どうしたの？（笑）

泰幸 さあw

豊 あー… いや、なんか 察した気がするわ

蘭 え、なに？

豊 お前らさあ、俺がいないあいだ、なんか言わなかった？

泰幸 え？

蘭 え？ …いや、え？

豊 俺がいないとき、俺の悪口言ってなかった？

泰幸 いや… んうあ？

蘭 うん…

豊 別にいいよ 「意識高い系」とか、よく言われるんだよな。

蘭 …「意識高い系」…

泰幸 まあ… まあ。

豊 俺も魂のレベル上げるまではそう思ってたから、そんな気にしないけどさ。

蘭 ううん…

泰幸 あおうん…

豊 まあだから、あれだろ お前らとそっという話してたから、

諒太も心配になったんだろ

蘭 ん？ あ、うちに悪口言われるかもってこと？

豊 そう あいつ、けっこう気にしいだろ

泰幸 たしかに

蘭 諒太の悪口かあ

豊 なに？ほんとに言うか？（笑）

蘭 いやいやw

泰幸 え、じゃあさ、それでいくとさ 諒太は実際…

豊 すげーいいやつだよな。

蘭 わかる（笑）

豊 実際の

蘭 出てこねえよ、悪口

豊 魂のレベリングもしてないのになあ

蘭 …いいやつってことだよな？

豊 そう

泰幸 まあさ、ぶっちゃけ、おまえら二人ともキモイところあるけどさ。

蘭 諒太は、お前らしいからいいじゃんって言ってたんだよ

豊 あんたも言われてたけど

泰幸 は？ 俺はきもくはないだろ

蘭 まあ、それは置いておいて

豊 諒太のああいうのはありがたいよな。

蘭 ちよつと甘いくらいだけだね
泰幸 昔からよな

蘭 俺、諒太が部長じゃなかったら、天文部なんかいなかったしw
あゝ、それはあるね みんな、諒太のおかげであそこにいたかも。
豊 文化部だったわりには、けっこう青春してたよな

泰幸 いやゝゝ 結婚ね。やゝゝゝ、幸せになつてほしいわ
蘭 結婚は、幸せじゃないんじゃないの？
泰幸 いやいや、それは俺の話

豊 諒太にはさ、平凡な幸せを手に入れてほしいだろ
蘭 言い方は気になるけど そうだな
サキコちゃんもいい子そうだしね

豊 ひとりで即決つてすごいけど、諒太なら大丈夫かなって思うよね
魂の周波数が一致する人と過ごすのは、それだけでレベリングになるしな
蘭 ……幸せになつてほしいってことだよな
豊 そう

泰幸 まゝ、俺たちから誘いづらくはなるんだろうけどな
蘭 そればかりはね
豊 潔く身を引こう

諒太、早紀子、玄関へ

諒太 ただいまゝ
早紀子 ただいまですゝゝ

泰幸 来たな
蘭 やば え、緊張すんだけど

諒太、早紀子、部屋へ
泰幸、蘭、豊、出迎える

豊 あ
蘭 お邪魔…してます
泰幸 お邪魔してます

早紀子 いえいえ わゝ、はじめまして…！
蘭 こちらこそ わゝ、あえてうれしい…！
諒太 みんなそんな、かしこまんないでもいいよ
泰幸 いや、こういうときはかしこまっというたほうがいいだろw
豊 さすがにな

諒太 あ、じゃあ、とりあえず、泰幸、蘭、豊ね
早紀子 よろしくお願いします
三人（不揃い） よろしくお願ひします…

早紀子 泰幸さんは、前に電話で話しましたよね
 泰幸 あ、そうすね 諒太が終電逃したときに…
 早紀子 その節はご迷惑をおかけしました
 諒太 ちよつと、なんかやめてよw
 泰幸 まあ別に、俺は会社とかで慣れてるし？ 蘭も、迷惑とかじゃなかったよな？
 蘭 あ、うん むしろすいません、こっちこそ帰してあげらんなくて
 早紀子 ぜんぜん、ぜんぜんです！
 …諒太くん、ふだんあんまりそういうことないので
 本当に皆さんと仲良いんだなあって
 諒太 10年来の親友だからね、
 豊 実際、人に言われると恥ずかしさが増すな（笑）
 諒太 いいだろ別に
 諒太 あ、じゃあ早紀子、かるく準備とか頼める？
 早紀子 うん
 蘭 準備？
 諒太 ああ、せつかくうちに来てもらったからさ
 みんなの好きなもの用意しようと思つて
 豊 あゝ、つまみとか買つてきてもらった感じ？ お金とか…
 早紀子 あ、大丈夫です！
 おつまみっていうか、食材なので、余つたらうちで使います。
 泰幸 食材？
 諒太 ふつうに夕飯の時間だし、飯用意しようと思つて
 蘭 え、つくるってこと？
 諒太 うん
 早紀子 ちよつと時間がかつちやいますけど…
 蘭 え、悪いよ！ いや、ぜんぜん大丈夫ですよ？
 うちら別に、そんなになにも要らないし… ね？？
 泰幸 うん まじで、酒とかなら多少こつちでも持つてきてるし
 諒太 いやいやいや 大丈夫だから！ こつちがもてなしたいんだって
 な？
 早紀子 はい、本当に気にしないでもらつていいですから
 せつかなんで、皆さんで話してください
 豊 ええ…
 蘭 あ…
 豊 あ…
 諒太 ん？
 豊 申し訳ないんだけど 俺、いま、無添加のものしか食べないようにしてんだけど
 ちよつと！
 豊 いや、作つてもらつてから言うほうが悪いだろ
 早紀子 あの、一応そ諒太くんから聞いてたので、それも踏まえて選びましたけど
 …確認してもらえますか？
 豊 え、いや… 俺、本当にけつこうこだわってるんで…

早紀子、豊に食材の入った袋を渡す

豊 え… あ、えっと… ああ… えっと あ…

諒太 これならだいじょうぶ…ですね…

諒太 良かった！ じゃあ、早紀子、頼むわ

早紀子 うん あの、わたし、奥のキッチンでちょっと調理してるので

ごゆつくりしてください

蘭 え、ちよっと待ってください ほんとに大丈夫ですって

諒太 いや、遠慮しないでよ

諒太 遠慮っていうか… だって、私たちもサキコちゃんと話したいもん

早紀子 ああ…まあ、そう？

泰幸 初対面だしな

蘭 うん っていうか、こちらは諒太とサキコちゃんのお祝いにきたからさ

本当にそこまでしてもらうのはちがうっていうか

豊 気持ちがありますけど

早紀子 どうする？ 諒太くん

諒太 うん… みんな、いったん早紀子と話すほうがいいのかな？

泰幸 まあ、そうだな 惚気も聞きたいことだし

早紀子 惚気？

諒太 あ、それはいいでしょって感じだけど！（笑）

まあ、みんながそこまで言うなら 料理すんのはあとにする？

蘭 もうぜひ、それで！

早紀子 わかりました じゃあ、お言葉に甘えて

早紀子、合流

泰幸 料理って、何作ろうとしてたんすか？

早紀子 えっと、泰幸さんがばらばらのチャーハン、蘭さんがプリンアラモード、

豊さんはベジミート焼き肉ですよね

豊 え？

早紀子 お好き、ですよ？

泰幸 まあ、チャーハン 好き…ですけど…

蘭 ベジミート焼き肉って何？

豊 そのままだけど

…え、でも え？ 待って、つくろうとしてたんすか？

早紀子 はい すみません、本当は仕込みとかいりますよね？

今日になって諒太くんと決めたので、そこまでは…

泰幸 え ちよっと 俺たちの好物つくろうとしてくれてたんすか？

至れり尽くせりすぎません？（笑）

諒太 みんなの好きなもの、って言ったじゃん

蘭 うわ、気を遣わせちゃってすみません

早紀子 いえいえ

諒太 ていうか、俺が言い出したことだから ほんとに氣遣ったとかじゃないよ

喜んでほしかっただけだから

豊 いやあ こっちは本当に、ちよつと冷やかしくらいのつもりですまん

泰幸 な

諒太 冷やかして来てくれるのがうれしいから、むしろ(笑)

蘭 サキコちゃんは、料理とか得意なの？

早紀子 うゝん、苦手ではないですね

仕事がシフト制で、毎日つくったりは難しいんですけど

あれ、仕事なにしてんでしたっけ？

1回ふつうに就職したんですけど、いまは保育士さんです

泰幸 え、そうなんだ！ なんか家庭的っぽくてよくね？

諒太 いいってそういうの！(笑)

豊 こいつ、サキコさんの話ぜんぜん教えてくれないんで

だって、別に そんな面白い話じゃないから

オモロ求めてるわけじゃないし！

まあ、だからあたしたち、サキコちゃんに会えるの楽しみにしてて

ありがとうございます でも、わたしは、よく皆さんの話きますよ

高校時代のことから最近のことまで

まじ？ え、なんかこわいなゝ

早紀子 諒太くん、皆さんのことほめてばかりですよ？

泰幸 あゝ、じゃあ美化されてるかも

諒太は甘いけど、こいつら口クでもないですからww

豊・蘭 お前もな

早紀子 逆に、皆さんからみた諒太くんってどんな感じですか？

諒太 え？

早紀子 いいでしょ わたし、諒太くんと共通の知り合いとかいないんだもん

豊 あそっか、アプリだから

早紀子 そうなんです わたし以外の人からみた諒太くん、気になるなゝって

諒太 ええ… でも…

不安げな諒太、沈黙

泰幸 (笑) お前さ、俺らがお前の悪口言ってるかもって心配してるだろ？

諒太 え？

蘭 ほら、わたしたち三人だけ残ったからさ

諒太 いや、うん… まあ、ちよつと、心配になったりしてるけど…

早紀子 言ってたんですか？

豊 まさか！

早紀子 まさか。

泰幸 こいつ、まっつじでいい奴ですよ。

早紀子 おお？

蘭 ちよつと変な友達でも、いいところ見つけて、フォローしてくれるし。

泰幸

あと、さつきの料理もだけど、マメなんすよね？

豊

俺らの誕生日とか、毎回なんかプチパーティみたいな開いてくれたりあゝ、あれ、諒太が言ってくれなかったらやらないよなw

蘭

うちらは受け身なほうだよなw

豊

あと、待ち合わせとかにぜったい遅刻してこない。

泰幸

あゝ

豊

お前らはけっこう遅れてくるからな いつも俺と諒太で待ってる。

蘭

あ、そういうのなら、「系」の返信もはやい 豊も泰幸も遅いんだもん

泰幸

転職前は、無駄に忙しいばっかのくだらない仕事してたからな

諒太は愚痴聞いてくれてたから、知ってるよな。

諒太

え うん、それはもう。

豊

お、なんだ、照れてるのか。

諒太

いや、そりゃ… 照れるわ。

豊

みんなすごいのにさ、俺にそこまでいつてくれるなんて…

蘭

あと何かなゝ ケチケチしないとかか？

豊

俺たちの話、よく覚えてくれてるよな

早紀子

ベジミート焼き肉が好きとか、俺いつ言ったのか覚えてないし

早紀子

なるほど… そんな感じなんですね。

諒太

なんか、えゝ、こんなちやほやされちゃって 俺、いいのかな。

豊

互いへのリスペクトと共鳴はレベリングの基本だしな

蘭

今日は諒太が主役だって言ってるじゃん。

諒太

…ありがとう。

泰幸

ま、次はお二人から、惚気のひとつでも聞きたいけど？

諒太

いやいや、俺らは本当にいいよ

蘭

なんでよ 夫婦なんだし、そんなに誤魔化さないでも

諒太

そうじゃなくて

豊

せつかく4人で集まってるんだし みんなの話のほうに聞きたいな

豊

いや、さすがに今日はもういいだろ

豊

4人ってか、サキコさんももういるんだしさ

諒太

え、いやでも 別にいいだろ…

早紀子

あのお

諒太

早紀子？

早紀子

あの、ですね？ ちょっといいですかね？

蘭

はい…

泰幸

どうかしたんすか？

早紀子

諒太くん。これ。

早紀子

諒太くん。これ。

早紀子

諒太くん。これ。

早紀子、紙を出す

諒太

え？

早紀子

これ

泰幸 え… なに？

豊 え

蘭 これ… あれ？ あの…？

沈黙

諒太 え？

早紀子 わかんない？

諒太 え…？

早紀子 だから、これ、離婚届。

諒太 え…？

沈黙

蘭 あのっ あれ？ あの… わたしたち、あの… お暇、する？

豊 え

泰幸 ああ、たしかに 俺たちがいたら、ちょっと、なんか、あれ、話しにくいかな、うん

早紀子 あの

泰幸 はい！ はい…？

早紀子 皆さんに、お聞したいことがあって。

豊 え

蘭 …わたしたち、ですか？

諒太 おい みんなは関係ないだろ。

早紀子 そういうところ。

諒太 は？

早紀子 そういうところだよ？

諒太 なにが

早紀子 わたし、諒太くんとなら理想の夫婦になって、理想の幸福をつかめると思ってた。

諒太 ……

早紀子 でも、ちがうんだ

沈黙

早紀子 諒太くんって

相手のいいところを見つけるのが上手で、マメで、誕生日とか大事にしてくれて、待ち合わせには絶対遅刻しなくて、「LINEの返信がはやくて、

愚痴とかも聞いてくれて、話した内容もよく覚えてて くれるんですか？

泰幸 え

豊 …あの そう ですね そうだと思います

早紀子 すっごくいい奴なんですか

蘭 はい…… え、ね、そっだよ
泰幸 えっ、あつ うん。

早紀子 そっですか

諒太 早紀子、なにが言いたんだよ

早紀子 わたしには、なにもフォローとかしないんだ？

諒太 え？

早紀子 この人たちが言うような諒太くんなら、わたしにやさしく、

どうしたの？って聞いてくれたってよさそうなのに

…早紀子が、皆の前で意味の分からないことをするから

諒太 それ

早紀子 は？

「みんな」

諒太 なんだよ

早紀子 わたしのこと褒めてくれたことなんて、どれだけあつたっけ？

誕生日だって何もしてくれないよね？

それどころか、えっと 泰幸さん？ と、わたし、誕生日一緒なんですよ？

泰幸 え

早紀子 今年の誕生日、泰幸さんの誕生日祝いで皆さんで飲んでたでしょ？

それで諒太くん、酔いつぶれちゃって帰ってこなかったでしょ。

沈黙

早紀子 待ち合わせは遅刻ばかりだし、返信だって遅いです。

愚痴ったりしても生返事で、わたしとの話なんてすぐ忘れちゃう。

諒太 ……

早紀子 今日、皆さんのおかげで、この人がどんなに妻としての

わたしを大切にしていなかったかがわかつちやいました。

だから、

諒太 ちがうだろ

沈黙

早紀子 え？

諒太 ちがうだろ、それは

早紀子 なにが

諒太 つというか、こんな話、わざわざ三人の前でしたくない。

面白くないよな、ごめんな？

料理も出すって言ったのに、なんにもないし…

蘭 いやいやいやいや

豊 今そっいうのいいだろ

泰幸 今は早紀子さんと話せよ

諒太 ……いやでも、ちがうじゃん。

泰幸も、豊も、蘭も、わかるだろ？

……

三人
諒太　ちがうじゃん、ちがうだろ

友達は友達、恋人は恋人で　夫婦と友達だって、ぜんぜんちがうだろ？

何が…

早紀子
諒太　俺はさ！

俺はさ、思ったんだよ。　ああ、ちがうんだなあって

世間では、友達以上恋人未満とか？

まるで恋人のほが上のように言われるけど、ぜったい違う

俺はそれを　童貞捨てたときに思ったんだ！

沈黙

蘭
…え？

諒太　早紀子、知ってるか　人間、「初体験」で人生観変わるんだよ

泰幸　え、ちよい、え？

諒太　俺の初体験は、１８のとき、大学の後輩が相手だった

豊　デートの最後でバーに行つて、終電を逃して、そのままホテルでヤツた
りよ　諒太？

諒太　たしかに気持ちよかったし、後輩とは恋人同士にもなった。

でも！　それからの俺は…　セックスに縛られるようになった

後輩と一緒に、いつどこでどんなことをなぜするのか、

そのすべてのゴールが「セックスをする」になっちゃったんだよ。

早紀子　…それで？

諒太　恋人間で大切なのは、セックス。

恋人になると、セックス以外にあったものは崩れ去る。

でも！

「友達」はちがう！　そこにセックスはない。

お互いを想い、リスペクトし、支えあう、愛ある関係が「友達」なんだ。

事実、俺が大学でセックスを知ってから、

泰幸と、蘭と、豊との関係は　何も変わらなかった。

早紀子　……

諒太　俺は思った　セックスに浸されない友達こそ、純粋で尊い。

だから…　だから、仕方がないだろ

早紀子　なにが？

諒太　恋人よりも、妻よりも、友達のほうがずーーーーーっと大切なんだ

しよせん、俺と早紀子の行きつく先は、セックスでしかないが、

泰幸と蘭と豊はちがう

俺たちは死ぬまで、純粋な愛ある関係なんだー！！

沈黙

早紀子 そっか、諒太くんの考えはよくわかりました

諒太 こんな簡単なこと、言わなくてもわかってほしかったよ

早紀子 ……………やっぱり、わたしと諒太くんの考えはちがうみたい

諒太 そっか

早紀子 これ 書いてくれますね？

諒太 早紀子が、その考えのままなら

早紀子 ええ この考えのままなので、諒太くんがその考えのままなら、書いてください
諒太 わかった

諒太、離婚届を書く

早紀子 ……諒太くん、最後にひとつだけ言わせて

諒太 なに？

早紀子 人との関係とセックスは、つながってる。

諒太 え？

早紀子 善い関係の先に、善いセックスがある。善いセックスの先に、善い関係がある。

恋人になったらセックスしなくなっちゃう、んじやなくて、

セックスの先の夫婦を、夫婦の先のセックスを、

ふたりでつくれたらよかった…ね。

諒太 ……

早紀子 諒太くんが、こんなふうに思えなくてもいいし、私も間違えちゃった…けど。

うん、…今までありがとう これ、出してくる。

早紀子、離婚届をもって部屋から出ていこうとする

諒太 早紀子！

早紀子

諒太 それ…俺も一緒に届けに行く。

早紀子 え？

諒太 たしかに、俺の考えは変わらない…けど

でも、せめて、終わりのくらい ふたりで一緒にいこう

早紀子 諒太くん…ありがとう

みんな、ごめん。そういうわけだから、ちよつと行ってくる

泰幸 え？ おう…

蘭 いってらっしゃい…

豊 え、これ俺たちは帰っちゃ

諒太 だめだよ

豊 え？

諒太 さっき、俺の気持ちは話しただろ？

俺たち一生、死ぬまで友達 せつかく4人で過ごせる日を減らしたくない
だから…待っててね。

豊 おう…

泰幸 じゃああの… うん 行ってこい。

諒太 ありがとう 行ってくる

諒太OUT

沈黙

泰幸 あいつ、超きめえじゃん……！

FIN